

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第7部門第3区分  
 【発行日】令和1年7月18日(2019.7.18)

【公表番号】特表2018-525923(P2018-525923A)  
 【公表日】平成30年9月6日(2018.9.6)  
 【年通号数】公開・登録公報2018-034  
 【出願番号】特願2018-506517(P2018-506517)  
 【国際特許分類】

H 0 4 W 72/04 (2009.01)

H 0 4 L 27/26 (2006.01)

H 0 4 W 4/46 (2018.01)

H 0 4 W 92/18 (2009.01)

【 F I 】

H 0 4 W 72/04 1 3 0

H 0 4 L 27/26 1 1 3

H 0 4 W 4/46

H 0 4 W 92/18

【手続補正書】

【提出日】令和1年6月17日(2019.6.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ワイヤレス通信の方法であって、

リソースプールのK個のサブセットを決定することと、各サブセットがK個のグリッド要素を含み、各グリッド要素がK個のサブ要素を含む、

前記リソースプールの前記K個のサブセットのうちの1つのサブセットを選択することと、および

前記選択されたサブセットのK個のサブ要素を使用してメッセージを送信することとを備える、方法。

【請求項2】

サブセットの前記K個のグリッド要素が固有の時間リソースを占有する、または、サブセットの前記K個のグリッド要素が固有の周波数リソースを占有する、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

サブセットの前記K個のグリッド要素が、固有の時間リソースと固有の周波数リソースの両方を占有する、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

Kが、メディアアクセス制御(MAC)パケットデータユニット(PDU)の送信の最大数である、請求項1に記載の方法。

【請求項5】

前記K個のサブ要素の各々が固有のグリッド要素に属する、請求項1に記載の方法。

【請求項6】

リソースプールの前記K個のサブセットを決定することが、Kのための値を受信することを含む、請求項1に記載の方法。

## 【請求項 7】

Kのための前記値が、無線リソース制御(RRC)シグナリングを介して受信される、請求項6に記載の方法。

## 【請求項 8】

ワイヤレス通信のための装置であって、前記装置は、

リソースプールのK個のサブセットを決定するための手段と、各サブセットがK個のグリッド要素を含み、各グリッド要素がK個のサブ要素を含む、

前記リソースプールの前記K個のサブセットのうちの1つのサブセットを選択するための手段と、および

前記選択されたサブセットのK個のサブ要素を使用してメッセージを送信するための手段と

を備える、装置。

## 【請求項 9】

サブセットの前記K個のグリッド要素が固有の時間リソースを占有する、または、サブセットの前記K個のグリッド要素が固有の周波数リソースを占有する、請求項8に記載の装置。

## 【請求項 10】

サブセットの前記K個のグリッド要素が、固有の時間リソースと固有の周波数リソースの両方を占有する、請求項8に記載の装置。

## 【請求項 11】

Kが、メディアアクセス制御(MAC)パケットデータユニット(PDU)の送信の最大数である、請求項8に記載の装置。

## 【請求項 12】

前記K個のサブ要素の各々が固有のグリッド要素に属する、請求項8に記載の装置。

## 【請求項 13】

決定するための前記手段が、Kのための値を受信するための手段を含む、請求項8に記載の装置。

## 【請求項 14】

Kのための前記値が、無線リソース制御(RRC)シグナリングを介して受信される、請求項13に記載の装置。

## 【請求項 15】

コンピュータによって実行されると、前記コンピュータに、請求項1乃至7のいずれか一項に記載の方法を行わせるコードを備える、コンピュータプログラム。

## 【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0082

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0082】

[0092]以上の説明は、当業者が本明細書で説明された様々な態様を実施できるようにするために与えられた。これらの態様への様々な変更は当業者には容易に明らかであり、本明細書で定義された一般原理は他の態様に適用され得る。したがって、特許請求の範囲は、本明細書で示された態様に限定されるものではなく、クレーム文言に矛盾しない全範囲を与えられるべきであり、ここにおいて、単数形の要素への言及は、そのように明記されていない限り、「唯一無二の」を意味するものではなく、「1つまたは複数の」を意味するものである。「例示的」という単語は、本明細書では「例、事例、または例示の働きをすること」を意味するために使用される。「例示的」として本明細書で説明されたいかなる態様も、必ずしも他の態様よりも好適または有利であると解釈されるべきであるとは限らない。別段に明記されていない限り、「いくつか(some)」という用語は1つまたは複数数を指す。「A、B、またはCのうちの少なくとも1つ」、「A、B、およびCのうちの

少なくとも1つ」、および「A、B、C、またはそれらの任意の組合せ」などの組合せは、A、B、および/またはCの任意の組合せを含み、複数のA、複数のB、または複数のCを含み得る。詳細には、「A、B、またはCのうちの少なくとも1つ」、「A、B、およびCのうちの少なくとも1つ」、および「A、B、C、またはそれらの任意の組合せ」などの組合せは、Aのみ、Bのみ、Cのみ、AおよびB、AおよびC、BおよびC、またはAおよびBおよびCであり得、ここで、いかなるそのような組合せも、A、B、またはCのうちの1つまたは複数のメンバーを含んでいることがある。当業者に知られている、または後に知られることになる、本開示全体にわたって説明された様々な態様の要素のすべての構造的および機能的等価物は、参照により本明細書に明確に組み込まれ、特許請求の範囲に包含されるものである。さらに、本明細書で開示されるいかなることも、そのような開示が特許請求の範囲に明示的に具陳されているかどうかにかかわらず、公に供するものではない。いかなるクレーム要素も、その要素が「ための手段」という句を使用して明確に具陳されていない限り、ミーンズプラスファンクションとして解釈されるべきではない。

以下に本願の出願当初の特許請求の範囲に記載された発明を付記する。

[ C 1 ]

ワイヤレス通信の方法であって、

リソースプールのK個のサブセットを決定することと、各サブセットがK個のグリッド要素を含み、各グリッド要素が少なくともK個のサブ要素を含む、

前記リソースプールの前記K個のサブセットのうちの1つのサブセットを選択することと、および

前記選択されたサブセットのK個のサブ要素を使用してメッセージを送信することとを備える、方法。

[ C 2 ]

サブセットの前記K個のグリッド要素が固有の時間リソースを占有する、C 1に記載の方法。

[ C 3 ]

サブセットの前記K個のグリッド要素が固有の周波数リソースを占有する、C 1に記載の方法。

[ C 4 ]

サブセットの前記K個のグリッド要素が、固有の時間リソースと固有の周波数リソースの両方を占有する、C 1に記載の方法。

[ C 5 ]

Kが、メディアアクセス制御(MAC)パケットデータユニット(PDU)の送信の最大数である、C 1に記載の方法。

[ C 6 ]

前記K個のサブ要素の各々が固有のグリッド要素に属する、C 1に記載の方法。

[ C 7 ]

リソースプールの前記K個のサブセットを決定することが、Kのための値を受信することを含む、C 1に記載の方法。

[ C 8 ]

Kのための前記値が、無線リソース制御(RRC)シグナリングを介して受信される、C 7に記載の方法。

[ C 9 ]

ワイヤレス通信のための装置であって、

メモリと、および

前記メモリに結合された少なくとも1つのプロセッサと

を備え、前記少なくとも1つのプロセッサは、

リソースプールのK個のサブセットを決定することと、各サブセットがK個のグリッド要素を含み、各グリッド要素が少なくともK個のサブ要素を含む、

前記リソースプールの前記 K 個のサブセットのうちの 1 つのサブセットを選択することと、および

前記選択されたサブセットの K 個のサブ要素を使用してメッセージを送信することとを行うように構成された、装置。

[ C 1 0 ]

サブセットの前記 K 個のグリッド要素が固有の時間リソースを占有する、C 9 に記載の装置。

[ C 1 1 ]

サブセットの前記 K 個のグリッド要素が固有の周波数リソースを占有する、C 9 に記載の装置。

[ C 1 2 ]

サブセットの前記 K 個のグリッド要素が、固有の時間リソースと固有の周波数リソースの両方を占有する、C 9 に記載の装置。

[ C 1 3 ]

K が、メディアアクセス制御 ( M A C ) パケットデータユニット ( P D U ) の送信の最大数である、C 9 に記載の装置。

[ C 1 4 ]

前記 K 個のサブ要素の各々が固有のグリッド要素に属する、C 9 に記載の装置。

[ C 1 5 ]

リソースプール of K 個のサブセットを決定することが、K のための値を受信することを含む、C 9 に記載の装置。

[ C 1 6 ]

K のための前記値が、無線リソース制御 ( R R C ) シグナリングを介して受信される、C 1 5 に記載の装置。

[ C 1 7 ]

ワイヤレス通信のための装置であって、前記装置は、

リソースプール of K 個のサブセットを決定するための手段と、各サブセットが K 個のグリッド要素を含み、各グリッド要素が少なくとも K 個のサブ要素を含む、

前記リソースプール of 前記 K 個のサブセットのうちの 1 つのサブセットを選択するための手段と、および

前記選択されたサブセット of K 個のサブ要素を使用してメッセージを送信するための手段と

を備える、装置。

[ C 1 8 ]

サブセット of 前記 K 個のグリッド要素が固有の時間リソースを占有する、C 1 7 に記載の装置。

[ C 1 9 ]

サブセット of 前記 K 個のグリッド要素が固有の周波数リソースを占有する、C 1 7 に記載の装置。

[ C 2 0 ]

サブセット of 前記 K 個のグリッド要素が、固有の時間リソースと固有の周波数リソースの両方を占有する、C 1 7 に記載の装置。

[ C 2 1 ]

K が、メディアアクセス制御 ( M A C ) パケットデータユニット ( P D U ) の送信の最大数である、C 1 7 に記載の装置。

[ C 2 2 ]

前記 K 個のサブ要素の各々が固有のグリッド要素に属する、C 1 7 に記載の装置。

[ C 2 3 ]

決定するための前記手段が、K のための値を受信するための手段を含む、C 1 7 に記載の装置。

[ C 2 4 ]

Kのための前記値が、無線リソース制御(RRC)シグナリングを介して受信される、  
C 2 3に記載の装置。

[ C 2 5 ]

ワイヤレス通信のためのコンピュータ実行可能コードを記憶するコンピュータ可読媒体  
であって、前記コンピュータ実行可能コードは、

リソースプールのK個のサブセットを決定することと、各サブセットがK個のグリッド  
要素を含み、各グリッド要素が少なくともK個のサブ要素を含む、

前記リソースプールの前記K個のサブセットのうちの1つのサブセットを選択すること  
と、および

前記選択されたサブセットのK個のサブ要素を使用してメッセージを送信することと  
を行うためのコードを備える、コンピュータ可読媒体。